

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

| 事業の概要 | | | |
|-------------|-----|----------|---------------------|
| 事業開始年度 S23~ | | | |
| 総合計画 | 大項目 | 基本目標 | 02 健康でやさしさあふれるまちづくり |
| | 中項目 | 基本施策 | 01 やさしさあふれるまちづくり |
| | 小項目 | 施策 | 01 子育て支援 |
| 事務事業名 | | 03 | 私立保育園運営委託事業 |
| | | 根拠法令・例規等 | 児童福祉法他 |
| | | 担当課(室) | 民生部子ども課 |
| | | 職・氏名 | 子ども福祉係長 藤田 政宣 |
| | | 電話 | 0869-64-1825 |

| 事業の実施 | |
|--------------------------|--|
| 対象(誰・何に対して) | 私立認可保育園 |
| 目的(何のために) | 生涯にわたる人間形成の基礎が培われる乳幼児期の子どもの、就労等により家庭で保育できない保護者に代わって保育し、健康で豊かで人間性を持った子どもの育成に寄与する。 |
| 行政活動(どのような方法で) | 関係法令等により規定された負担割合による国県市負担金を財源とした私立保育園運営委託料 |
| 事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか) | 入園希望者に対し待機児童数を無くすることで事業目的を達成させる。また、充足率が上昇することによって、単位当たりコストが下降し効率化が図れる。 |

| 事業の実績 | | | | | |
|--------------|----|------------------------------|------------|------------|--|
| 実施項目 | 単位 | 平成18年度実績 | 平成19年度実績 | 平成20年度実績 | |
| 年間平均入所者数 | 人 | 12 | 11 | 14 | |
| 定員数 | 人 | 20 | 20 | 20 | |
| 事業費 | | | | | |
| 直接事業費 | 千円 | 17,239 | 17,267 | 18,938 | |
| 必要人員 | 人 | 0.07人 | 0.02人 | 0.02人 | |
| 必要人員人件費 | 千円 | 532 | 150 | 152 | |
| 事業費計 | | 17,771 | 17,417 | 19,090 | |
| 財源 | | | | | |
| 国県支金 | 千円 | 9,481 | 10,526 | 10,654 | |
| 受益者負担 | | 3,468 | 2,674 | 3,316 | |
| 市債 | | | | | |
| その他() | | | | | |
| 一般財源 | | 4,822 | 4,217 | 5,120 | |
| 受益者負担比率 | % | 19.5% | 15.4% | 17.4% | |
| 結果指標名 | 単位 | 平成18年度実績 | 平成19年度実績 | 平成20年度実績 | |
| 年間平均入所者数(私立) | 説明 | 私立保育所1園での1日当たりの園児措置数 | | | |
| 結果指標量 | 人 | 12 | 11 | 14 | |
| 対前年比 | % | 92.3% | 91.7% | 127.3% | |
| 活動コスト | 円 | 17,770,885 | 17,417,200 | 19,089,680 | |
| 単位当たりコスト | 円 | 1,480,907 | 1,583,382 | 1,363,549 | |
| 充足率(私立) | 説明 | 年間平均入所者数を私立保育所1園の定員20人で除した割合 | | | |
| 結果指標量 | % | 65.0 | 55.0 | 70.0 | |
| 対前年比 | % | 100.0% | 84.6% | 127.3% | |
| 活動コスト | 円 | | | | |
| 単位当たりコスト | 円 | 0 | 0 | 0 | |

| 事業の成果 | | | | | |
|--|----------|--------|--------|--------|--------|
| 成果指標名 | 年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 到達目標値 |
| 待機児童数 | 目標値(A) | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | 実績値(B) | 0人 | 0人 | 0人 | 到達目標年度 |
| | 達成率(B/A) | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 毎年 |
| 成果指標設定の考え方・式や説明 | | | | | |
| 保育園に入所を希望し、資格を有するにもかかわらず定員超等の理由で入所できない児童を生じさせないことで目的を達成する。 | | | | | |

| 事務事業の評価 | | 妥当性評価<A~E> | |
|---------|----------|---|--|
| 妥当性の評価 | 市の関与の妥当性 | <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境から目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある | 判定理由・課題認識 |
| | 市民ニーズ | <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明 家庭での保育に欠ける子には必要不可欠な施設である。 | 関係法令で定められているとおり適正な算定が必要である。 |
| 効率性の評価 | コスト | <input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている | 効率性評価<A~E> 判定理由・課題認識 公立保育園のない地区に設置されている市内唯一の私立保育園である。市民サービスの面からはよいが、コスト削減の上からも運営に必要な園児数の確保、保育料の見直し等を考える必要がある。 |
| | 目的達成度 | <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない | 有効性評価<A~E> 判定理由・課題認識 就学前児童が減少し、定員に対する充足率は低迷している。しかし、核家族化等による社会状況の変化に伴い、就学前教育に関するニーズが多様化する中、就学前の子どもに対する教育及び保育と地域における子育て支援を総合的に提供する施設として、保育園の役割、需要が増大していくものと考えられる。 |
| 有効性の評価 | 市民参画度 | <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている | |

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

| 平成21年度の状況 | | | | | | | |
|-----------|---------------------|------|--------|------|-------|----|-------|
| 目標値 | 結果指標量① | 20人 | 結果指標量② | 100% | 成果指標量 | 0人 | |
| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
| 説明 | 4月1日現在の園児数は、12人である。 | | | | | | |

| 総合評価 | | 評価区分<A~E> | 妥当性 |
|---|--|-----------|-----|
| 国県市負担金を財源とした委託事業のため、今後も適正に算定し、事業を継続して行う必要がある。 | | C | |

| 平成22年度以降の方向性・内容 | | | | | | | |
|-----------------|------------------------------|----------------|------|--------------|------|----|-------|
| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
| 説明 | 公立保育園がない地区であるため事業を継続する必要がある。 | | | | | | |
| 改善がある場合 | 評価の視点 | 改善内容 | 改善時期 | 改善により期待される効果 | | | |
| | 効率性 | 保育料の改正(受益者負担増) | 長期 | 市負担額が軽減される。 | | | |